

# 校長室だより

令和5年(2023年)  
2月10日発行(No.28)  
柏原市立 堅上小学校  
校長 小森 美智代

## ◇◇◇学校教育アンケート結果(保護者:45名)◇◇◇

A:あてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:全くあてはまらない

※AとBに回答したものを、肯定的評価とする。

保護者の皆さまには、コロナでここ2年回答いただかなかった項目について回答していただき、今回のアンケートは全部で22項目となりました。お忙しいところ、ありがとうございました。昨年度のアンケート結果の課題に4月から向き合ってまいりました。

①学校へ行くのが楽しい。②授業が分かりやすい。⑤通知表は、子どもの学力や達成度をわかりやすく表すように工夫されている。⑥先生は、子どものことを理解し、適切に指導してくれる。⑧先生は、児童の人権を尊重する姿勢で指導にあたっている。⑨教育方針や学校の様子をわかりやすく伝えている。⑩学校はすすんであいさつをする習慣や礼儀、言葉づかいなどについて指導している。⑪学校は、学力向上に向けて効果的に取り組んでいる。⑫学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。⑬学校は、子どもに生命を大切にすることや社会のルールを守る態度、豊かな心を育てようとしている。⑭子どものことについて、学校に相談できる⑮地震や台風などの対応について知らされている。⑯コロナの感染症対策を行っている。この16項目は、肯定的評価は90%以上という評価をいただきました。特に、⑥⑧⑫については100%の評価をいただきました。しかし、肯定的な評価とひとくくりにすることなく、今後も多くの保護者の方々にA:あてはまると評価していただけるよう、今後の教育活動のより一層の充実をめざしていききたいと思います。ご協力・ご支援をよろしくお願い致します。貴重なご意見やご提案ありがとうございました。

昨年度のアンケートで課題になっていた項目③⑦⑩と今回の課題④についてお伝えします。

### ③ 子どもは、家庭学習(宿題や読書、自主学習など)に意欲的に取り組んでいる。



	A	B	C	D
R4	27%	29%	42%	2%
R3	15%	43%	38%	4%



22項目の中で、残念ですが今年も一番肯定的評価が低かった項目です。昨年度よりA評価が増えたのですが、逆にC評価は増えてしまいました。子どもたちの自己評価は少し上がっていたのですが、読書に集中している子どもたちの姿もよく見かけるので、本が好きな子はたくさんいると思うので、意欲につながるアイデアを出していかなければと思います。引き続きの課題です。

### ⑦ 小規模校の特徴を活かした学習指導や学級経営がなされている。

	A	B	C	D
R4	45%	43%	9%	2%
R3	57%	23%	13%	7%

丁寧な指導や担任だけでなく教職員全員で子どもたちを育てようと頑張ってきたことが改善につながり、CD評価が減少したと思いましたが、A評価が減ったことをきちんと受け止めていききたいと思います。

### ⑬学校は、小規模特認校として、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる。

	A	B	C	D
R4	44%	44%	11%	0%
R3	46%	33%	13%	9%

3年ぶりに特色ある行事が中学校区でも実施したことで少しポイントは改善しました。引き続き幼、小、中が連携し、特色ある教育活動を行い、多くの皆さんからA評価をいただけるよう取り組んでいきたいと思ひます。

### ④学習の内容や子どもの様子等を懇談や学級通信などによって知ることができる。

	A	B	C	D
R4	42%	36%	20%	2%
R3	45%	38%	13%	4%

昨年度より、少し学校からの発信力が弱いと感じられることが多かったようです。懇談だけでなく、校長室だよりや学級通信を発行して、より子どもたちの様子をお伝えしていきたいです。

- ・幼・小・中合同の行事を増やして欲しい。→ 堅上中学校区の特色を大切にしていきたいです。ICTを活用した授業も進めます。
- ・PTAの役員の負担を減らして欲しい。→ ご無理のないようできる範囲でご協力いただけたらと思います。
- ・宿題や自主学習にやる気が出ない。やる気が出るような工夫や自主性が身につく指導をお願いします。→③引き続き課題です。
- ・週末の作文の宿題を出して欲しい。子どもの文章を書く力が伸びました。→授業や行事などの振り返りもしっかりと書けるようになっています。効果が実証されている取り組みの一つなので、継続していきたいと思ひます。
- ・家庭で指導したいので、あゆみの評価のポイントを教えて欲しい。→懇談の時間内でお伝えできるようにと思ひます。
- ・入学式の写真以降、学校生活の思い出になるように写真が欲しい。→個人情報観点の踏まえてできることを考えてみます。
- ・3学期にも、次学年に向けての懇談があればいい。→現状の変更は難しいところですが、また今回は、担任が冬休みも含めて休暇を取らせていただいたことで、1月の懇談となってしまいご迷惑をおかけしました。ご協力ありがとうございました。
- ・修学旅行の日程を検討して欲しい。→単独実施ではなく、市内の2校と専用の臨時列車を利用しています。また、日曜参観も特認の参観を兼ねているために日の指定があります。毎年、月曜日以外での希望は出していますが、ここ2年は、ハードな日程になってしまいました。
- ・漢字検定だけでなく、英検も。→漢検以外に全国学力テスト、すくすくテスト(大阪府)、はぐくみテスト(柏原)を実施しています。
- ・ブライントタッチができるように→活用能力の一つで、ローマ字入力をする時少し練習していますが、成果物を1番に考えています。
- ・児童数の減少が心配、もっと小規模校の良さをアピールして。読みたくなるような案内、バスの運行経路の拡大。1学期の特認希望者の参観など→学校の取り組みについては発信を進めていきます。また、それ以外については、市へ伝えておきます。
- ・引き続き、特長を生かした学校作りに注力して下さい。いろんなことに着手するとブシます。強みを伸ばしていくことが地道ですが正しい方向です。
- ・「先生が、みんなに平等に優しくしてくれて学校楽しい」と子どもが言ってます。親としても安心して通わせることができ感謝しています。
- ・いつも教育活動ありがとうございます。先生方の健康やプライベートの時間も新しいアイデアや先進的な取り組みには欠かせない要素です。ワークライフバランスの取りやすい環境が整った学校であると認知してもらえるような仕組みができればいいですね。
- ・子どもたちが「楽しい!」と思える学校生活が送れるよう、親としても学校活動にできる限り協力できればと思ひます。

～お時間をかけていただき、また、貴重なご意見をいただきありがとうございました。少しずつ緩和の方向に進んでいきます。多くの保護者の方に、足を運んでいただき、子どもたちの成長を観ていただけるよう努力してまいります。～